

問6. ボランティア養成講座について、貴社協ではどのような講座を行い、講座終了後はどのように活用していますか？

社協名	講座名称	対象	内容	活用方法
国頭村	ボランティア登録説明会	地域住民	これから必要とされるボランティアの内容説明。	独居高齢者等のお家の草刈や、買い物の支援の依頼がある場合に活用予定
今帰仁村	介助ボランティア体験学習	今帰仁在中	オリエンテーション演習	沖縄県障がい者スポーツ大会にて選手のサポート
	福祉レクリエーションボランティア講習会	地域住民	講話実技演習	
名護市	ボランティア研修会	市民	講話	ボランティア登録の紹介
	災害ボランティア研修会	民生委員	訓練参加	
	ボランティア研修会	市民	映画上映及びトークライブ	
宜野座村	ボランティア体験学習	中学生	講師・ふれあい体験・車イス体験・ワークショップ	各施設へ案内・派遣
	就業体験インターンシップ	村内・外 高校生	ふれあい体験・介護・介助	〃
	ボランティア体験学習	村内各小学校	車いす・誘導・湯茶接待・レク手伝い・講話	〃
金武町	手話講座	住民	講話・実践等	
	点字講座	〃	〃	
伊平屋村	傾聴ボランティア養成講座	社協職員	講話・演習等	講座修了者をボランティア登録。高齢者施設へ派遣し、入所者の話相手の役割を担った。
うるま市	傾聴講座	地域住民	講話・講習等	ボラセン登録してもらい、傾聴ボランティアに派遣した
	包括支援員 養成講座	地域住民	講話・演習等	権利擁護事業の包括支援員として登録、支援活動実地(3名)その他ボラセン登録し、個人ボランティアとして適宜派遣している。
沖縄市	発達障がい児サポーター養成講座	地域住民	発達障がいに関する講話、演習等	講座終了後、サポーターとして活動希望される方を登録。サポーターを希望する小中学校に派遣し、対象児童生徒の支援を行っている。
	福祉まつりボランティア講座	福祉まつりボランティア希望者	福祉講話ボランティアに関するオリエンテーション高齢者・障がい者への接遇講座、演習	福祉まつりボランティアへの参加
	高校生の夏休み福祉体験講座	高校生	福祉に関する講話や演習、実習等	将来の福祉人材の育成につなげる
	介助や見守りが必要な方への接客を学ぶセミナー	地域住民地域見守りネットワーク参加事業所	講話・演習等	地域見守り活動者として、地域で支援が必要な高齢者等の見守りを行っていただく。
読谷村	傾聴ボランティア養成講座	地域住民	講話・演習等	今後、傾聴が必要な方へ派遣できるような体制を作る
嘉手納町	ボランティアチャレンジデー	地域住民	ボランティア体験	講座修了後、希望者は継続してボランティア活動に参加している。
宜野湾市	ふれあいサポーター養成講座	地域住民	講話、施設見学等	講座終了後、ボランティア登録、生活支援員への登録。高齢者施設、障害者施設への派遣。
	手話奉仕員養成講座	地域住民	演習等	講座終了後、サークル等で活動。
	点字講座	地域住民	演習等	講座終了後、サークル等で活動。プログラムサポートへの協力あり。
北中城村	1日体験ボランティア	地域住民	ボランティア体験	今後のボランティア活動へのきっかけづくり
	傾聴ボランティア養成講座	地域住民	講話・演習等	村内、福祉施設等の利用者との話・相談相手
	小学生、中学生、高校生ボランティア養成講座	村内小・中・高	講話・体験・活動・サークル等の発足	今年度は、地域の様々な団体の協力を得て、自己表現等を通した演劇活動や子ども達の新たなサークル活動の立ち上げに繋がるような講座。
中城村	発達障がい児サポーター養成講座	地域住民	講話・ワークショップ等	発達障がい児等をサポートするボランティアサークルへ案内し、活動へと繋げている
西原町	手話養成講座	地域住民	講義・実技	修了者は手話奉仕員として登録し、聴覚障がい者とコミュニケーションに努める。
浦添市	点訳ボランティア講座(初級及び中級)	地域住民やサークル	講話及び実践演習など	初級修了者へサークル活動へ参加してもらい、現在も活動中の方々、多数在籍
	手話ボランティア養成講座	地域住民	講話及び実践など	初級編を必ず受けてもらい、サークル活動へ移行。その後はスキルアップで手話奉仕員まで目指してもらう様に声かけしている。
	音訳ボランティア養成講座	地域住民	〃	講座修了後はサークル活動へ声かけする。数名は講座修了後にサークルへ加入している。
	要約筆記養成講座	地域住民及びサークル員等	〃	講座終了後はサークル活動へ声かけする。加入する方が少ない状況
豊見城市	傾聴ボランティア養成講座	地域住民	講話・演習等	講座修了者をボランティアとして、独居老人宅への話相手として派遣
	音訳ボランティア養成講座	地域住民	講話・演習等	講座修了者をボランティアとして広報の音訳ボランティアを行う
	ゲートキーパー養成講座	地域住民相談機関職員	講話・演習等	講座修了者が地域(各分野)において、自殺予防活動を展開できる街づくりを目指す。
	ボランティア指導者研修会	市内小・中・高ボランティア担当教諭	講話・演習等	ボランティア活動、福祉教育の在り方について理解を深める。各学校にて児童、生徒に対しボランティアに関する理解関心を育てていく。

糸満市	傾聴V養成講座	地域住民	講話・演習等	在宅の高齢者宅等へ出向き話相手を行っている。
	地域V講座	地域住民	・手話、要約等記など ・Vとは ・認知症高齢者の理解など	その都度内容を変えて実施。終了後はV団体への加入や個人ボランティア登録をしてもらい、活動してもらっている。
八重瀬町	手話ボランティア養成講座	地域住民	講話・実践	講座修了後に講座受講生を中心に手話サークルを立ち上げた。町内各小学校のクラブ活動等で手話サークルのメンバーが子ども達に手話を指導。
	音訳ボランティア養成講座	〃	〃	講座終了者をボランティア登録。音訳サークルに加入し、視覚障がい者等に対して声の広報活動を行っている。
南城市	地域ボランティア養成講座in南城市	地域住民	講話・グループワーク	講座修了者をボランティア登録。市内福祉施設や高齢者宅へ傾聴ボランティアとして派遣
	地域指導者養成研修	市内福祉施設職員	講義(座学、実技)	研修修了者を地域指導者講師として登録。学校からの福祉体験学習や施設等からの講座の講師として派遣。
南風原町	手話ボランティア養成講座	地域の住民		サークルへ加入を促し、多くの方が入会した
	音訳ボランティア養成講座	〃	音訳についての基礎知識	〃
	10代のボランティア研修会	中・高校生	福祉講話ボランティア活動体験	研修会の報告を先生等の前で行い今後学校でのボランティア推進に繋がっている。
久米島町	福祉体験学習	児童・学生	講話・実技	
渡名喜村	小中学生ボランティア講座	小学高学年・中学生	演習(車イス体験)	本当福祉施設でのボランティア活動
南大東村	ボランティアスクール	中学生	沖縄本島の施設にて研修・見学	
宮古島市	ボランティア連絡会	施設・学校・団体・一般	ボランティア担当者との交流・講話・発表等	担当者間との交流にて講話等の依頼
	サマーボランティア体験研修会	中・高校生	講話・施設体験	研修会終了後、施設行事等に自主的に参加。
	ボランティア養成講座(通いの場)	地域住民	講話・研修	終了後ボランティア登録・通いの場開催
石垣市	夏休みボランティア体験教室	一般・高校生	活動紹介	各施設でのボランティア活動に従事して頂いた。

問6については、各社協におけるボランティア養成講座の内容や講座終了後のボランティアの活用について掲載したものである。傾聴ボランティアや手話講座、発達障害児サポーター養成講座など、各社協で様々な取組みが実施されており、講座終了後に各施設へボランティアとして派遣しているケースも見られる。このように各市町村社協で養成されたボランティアが各福祉施設においても活躍できることで、施設と社協とが連携しながらボランティア活動の活性化を図ることができると考える。

問7. 今後貴社協が施設とのボランティア受け入れ等の調整を進めていく中で、施設に求めること、期待すること等がありますか？

・村内には、社会福祉施設がほとんどないので、今後どのように関わっていくか。(ボランティアについて)

・ボランティア団体等が訪問する際に、モチベーションが上がるような受け入れ体制で、ボランティアに関する担当職員がいると助かる。

・ボランティアに限らず、普段からお互いの活動について理解し合う事が重要だと感じる。また、事業所間の交流、情報交換を深める事でも協力し合える関係づくりができる場所作りが必要。

・ボランティアと施設内だけの関わりだけでなく、職員又は利用者の皆様も地域の行事・活動に参加協力して頂けると嬉しい。

・施設の担当との情報交換等が必要。(どういったボランティアがあるのか？ どういったニーズがあるのか？ 含めて)

本会では、各施設に年1度の夏休みボランティア研修会の体験学習を依頼している所ですが、協力的に対応してもらっている。また、個人のボランティアもスムーズに受け入れができていたので、これまでも同様継続できたらと思う。

・情報提供やボランティア保険等で連携を図っていきたい。

・施設の求めているもの、把握できる機会をほしいが、日々に追われ、なかなかできていない。

・施設側と一緒にボランティアの啓発、人材育成に取り組む事ができれば良い。

・ボランティア受け入れだけでなく、他の事業等での日頃からの相互連携等のネットワークづくりができると良い。

・横のつながりがあると動きやすいので、同業間でも情報交換が行われているとありがたい。

・日時や内容が決定していれば、内容を前もって詳しく伝えて頂きたい。

・なぜボランティアを受入れるのか、施設にとってのメリットは？(労働以外で)等、ぜひ職員間で考えていただきたい。  
納涼祭のボランティア依頼が多いが、やはり受け入れ体制の良い施設はリピーターも多いので、ぜひご検討下さい。(私達も紹介しやすい)

・学校関係(保育園・所、幼稚園、小学校、中学校、高校)は、ボランティア担当保育士及び教諭がいるので、ボランティアの相談等がスムーズに行われるが、高齢者福祉等は担当者がいないので、担当者を配置して欲しいと思う。

・ボランティアへのサポートとアフターフォロー。

・活動中の心使いや感謝の言葉等の声かけ。

・活動後も継続した繋がりを保つための良い関係づくり

・施設の機能、人材の力を活かした居場所づくり、学校の総合時間への協力関係を築けていければ良い。

・受け入れ後の連絡が欲しい。ボランティアの気持ちや感じた事を、施設側でも聞き取り、疑問や不安などの解消につなげてほしい。

・地域との関わりや交流促進などの公益的な活動推進。交流機会のための場の提供。

・他市町村が行っている施設、地域、ボランティアへのアプローチ方法を参考にしながら、地域に必要なボランティア養成講座を開催し、ネットワークづくりを行いたい。

今後社協が施設とのボランティア受け入れ等の調整を進めていく中で施設に期待していることとして、別表にまとめた通りとなっている。中でも、「施設と連携してボランティアプログラム作り等をしてみたい」、「ボランティア受け入れだけでなく、他の事業等でも相互連携等のネットワークづくりができると良い」等、施設との連携・協働した取組みを期待する社協も多くみられた。